

安芸高田市施策評価シート（平成24年度施策）

評価対象 施策名	結婚サポート事業	施策コード	作成者	所属	市民部 市民生活課
		14013		役職・氏名	課長 中村慎吾
				電話	0826-42-1128

1. 施策の現状分析及び意図

総合計画 (基本計画)体系	基本方針	V計画の推進
	主要施策	4.その他

① 住民意識調査結果	特に実施していない。	② 左記結果に対する現状分析、住民との協議結果 結婚相談員やコーディネーターからも、結婚希望者はいるが出会いの機会がなく、結婚できない男女は多数いる状況にある。
③ 施策の現状と課題	結婚を希望する男女が多くいるが、出会いの機会が少なく結婚はおろか、交際もできない状況にあるため、結婚相談員やコーディネーターを中心に出会いの場を創出している。H23年度までで7組が成立した。	
④ 施策の意図、今後の展望	結婚相談員・結婚コーディネーターを活用し、少子化の一因とされる未婚の男女の増加に歯止めをかけ、人口増や若者定住を促進する。	

2. 施策指標の検討・設定

現状の課題、意図、今後の展望のキーワード	考えられる施策指標候補	重点化
結婚コーディネーターの選任	人数と市内全域に対応した配置となる人選	
出会いの場の創出	場の設定アイデアや中味の充実	
交際カップル及び成婚組数	成婚率や交際カップル数	★

施策指標名	単位	評価値の推移			目標値		他団体等の状況	指標の説明
		H22	H23	H24	H25	H27		
結婚コーディネーター連絡会議の開催	目標	12	12	12	12	12		月1回の開催
	実績	12	12	12	-	-		
	達成率	100.0%	100.0%	100.0%	-	-		
結婚コーディネーターの選任者数	目標							
	実績	24	23	22	-	-		
	達成率				-	-		
カップリング交流イベント開催回数	目標	6	5	5	5			
	実績	5	4	5	-	-		
	達成率	83.3%	80.0%	100.0%	-	-		
成婚者数	目標	3	3	3	3	3		
	実績	3	4	5	-	-		
	達成率	100.0%	133.3%	166.7%	-	-		

3. 施策構成事務事業の評価

事業種類 経費区分	CD	事務事業名	主な予算科目	H23決算	H24決算	H25予算	人員数(H24) 人件費	重要度	優先度	備考
				うち一財	うち一財	うち一財				
既存	511	結婚サポート事業	1.2.1.10.1.6	3,672	3,936	4,039	0.40	高い	前年度並み配分	
ソフト事業				3,672	3,936	4,039	3,306			
合計				3,672	3,936	4,039	0.40			
				3,672	3,936	4,039	3,306			

4. 3以外で目的達成に必要な新規事業及び連携させる他機関の事業

事業主体	新規又は連携が必要な事務事業	説明

5. 施策の現状分析に基づく改革案の説明

評価視点	評価コメント
① 施策指標の分析	本年度成婚者数5組は事業開始から3年半の取組の結果として生まれたものであり、この間、コーディネーターもノウハウを蓄積してきた証であるといえる。
② 平成25年度以降の課題（事務事業構成、役割分担）	結婚コーディネーター数を増やすことが出会いや結びつきの機会を増やすことになるので、コーディネーターの増員の取り組みが重要である。特に美土里・高宮地域の人数が少ないため、掘り起こしが必要である。
③ 総合評価（今後の展開、事務事業の見直し等）	これまでの反省を踏まえ、自己アピールや身だしなみ、話し方など結婚希望者の意識変革に重点を移す必要がある。今後は、「もて」セミナー等で結婚希望者の魅力アップの機会を創り出してゆく。

政策への貢献度	高い	市民部長	(氏名)	新川 昭夫
---------	----	------	------	-------

安芸高田市施策評価シート（平成24年度施策）

評価対象 施策名	市議会事務	施策コード	作成者	所属	議会事務局
		51001		役職・氏名	次長 山中 章
				電話	0826-42-5621

1. 施策の現状分析及び意図

総合計画 (基本計画)体系	基本方針	V計画の推進
	主要施策	4.その他

① 住民意識調査結果	・市民に開かれた身近な存在の議会であること	② 左記結果に対する現状分析、住民との協議結果
③ 施策の現状と課題	・議事録編さんのスピードアップとホームページへの早期掲載 ・開かれた議会のために、イントラネットを活用した本会議のインターネット中継(映像の配信)の検討(近隣の庄原市、北広島町は既に導入済み) ・政務調査費の支給方法と報告様式の改善(H21年度より実施中) ・議員活動サポートのための事務局職員のスキルアップ	
④ 施策の意図、今後の展望	・校正作業のマニュアル化による迅速な議事録編さんと、市民への早急な情報の公開 ・定例会毎に「議会だより」を発行し、情報公開と議会に対する市民の理解度を深める ・他市議会の制度や運営方法を調査研究し、質の高い議会運営を行う ・他市町の行政事業について、先進地視察による調査研究を行い、本市の行政・議会運営に反映させる	

2. 施策指標の検討・設定

現状の課題、意図、今後の展望のキーワード	考えられる施策指標候補	重点化
本会議議事録の編さんのスピード化	作成日数(編集に要した日数)	★
政務調査費の支給方法の見直し	政務調査費収支報告書の訂正等を行った回数	
議会に関する情報の提供	市議会ホームページ(議会だより等)へのアクセス回数	

施策指標名	単位	評価値の推移			目標値		他団体等の状況	指標の説明
		H22	H23	H24	H25	H27		
定例会終了から会議録公表までの経過日数	目標	180	180	180	150	150	定例会(年4回)の最終日からホームページ掲載までに要した日数	
	実績	150	287	291	-	-		
	達成率	120.0%	62.7%	61.9%	-	-		
政務調査費収支報告書の訂正等の回数	目標	7	7	7	7	5	収支報告書の記載誤りや計上誤り、計算ミスなどの訂正回数	
	実績	8	11	45	-	-		
	達成率	87.5%	63.6%	15.6%	-	-		
市議会ホームページのアクセス回数	目標	9,000	13,000	25,000	40,000	61,000	市議会ホームページへのアクセス回数の累計値	
	実績	14,230	21,890	31,230	-	-		
	達成率	158.1%	168.4%	124.9%	-	-		
	目標							
	実績				-	-		
	達成率				-	-		

3. 施策構成事務事業の評価

事業種類 経費区分	CD	事務事業名	主な予算科目	H23決算	H24決算	H25予算	人員数(H24) 人件費	重要度	優先度	備考
				うち一財	うち一財	うち一財				
既存	456	市議会運営事業	議会費	6,749	5,648	8,530	3.30	高い	前年度並み配分	
法定事務				6,749	5,648	8,530	27,757			
既存	457	市議会広報事業	議会費	1,195	1,133	3,047	0.95	普通	前年度並み配分	
法定事務				1,195	1,133	3,047	7,991			
既存	458	市議会調査事業	議会費	5,888	5,248	10,126	0.75	普通	前年度並み配分	
法定事務				5,888	5,248	10,126	6,308			
合計				13,832	12,029	21,703	5.00			
				13,832	12,029	21,703	42,056			

4. 3以外で目的達成に必要な新規事業及び連携させる他機関の事業

事業主体	新規又は連携が必要な事務事業	説明

5. 施策の現状分析に基づく改革案の説明

評価視点	評価コメント
① 施策指標の分析	・本会議議事録のホームページ公表については昨年より若干遅い。 ・政務調査費報告については議員改選年度であり、報告事務が複雑となったため訂正回数が増加したと思われる。
② 平成25年度以降の課題(事務事業構成、役割分担)	・本会議議事録公表については作成期間の短縮と作成方法の検討を行い6ヶ月以内を目途に市民への情報提供のスピードアップに取り組む。 ・議会中継(生中継・録画中継)の配信の検討。
③ 総合評価(今後の展開、事務事業の見直し等)	・本会議議事録の作成方法・事務分担等検討し、作成期間短縮を図る。 ・事務局職員の事務遂行能力・知識向上のための研修により、議員サポート能力の向上を図る。 ・議員の資質向上のための政務活動費について、助言等行い有効活用を図る。

政策への貢献度	普通	事務局長	(氏名)	外輪 勇三
---------	----	------	------	-------

安芸高田市施策評価シート（平成24年度施策）

評価対象 施策名	選挙管理委員会の運営	施策コード	作成者	所属	選挙管理委員会事務局
		70001		役職・氏名	事務局長・大野 泰典
				電話	0826-42-1136

1. 施策の現状分析及び意図

総合計画 (基本計画)体系	基本方針	V計画の推進
	主要施策	4.その他

① 住民意識調査結果	平成22年に投票区を再編しており、その後は特定の事項に関して意識調査を行っていない。	② 左記結果に対する現状分析、住民との協議結果 選挙人からの問合せ等の多くは、選挙運動に関してであり、啓発活動の多様化を検討する必要がある。
③ 施策の現状と課題	選挙管理委員会が管理・執行する選挙は、国の選挙が2種類(衆議院、参議院)、県の選挙が2種類(県知事、県議会)、市の選挙が3種類(市長、市議会、農業委員)、その他の選挙が15種類(財産区議会9種類、土地改良区6種類)の、22種類がある。これらの選挙は、4年間の間に必ず執行され、又、補欠選挙の執行が必要となる場合も想定される。いずれにしても、短期間に必要な事務処理が集中することとなるため、各選挙を通じて統一した処理が図れるよう、対策を講じる必要がある。	
④ 施策の意図、今後の展望	年度によっては、選挙を10種類以上行う場合もあり、選挙の執行・管理事務を通じて、必要な情報を蓄積、整理し、各選挙が一巡する4年後を目途に選挙事務のマニュアル化を図る。	

2. 施策指標の検討・設定

現状の課題、意図、今後の展望のキーワード	考えられる施策指標候補	重点化
効率化、省力化	選挙執行日の決定から告示日前日までの当該選挙に係る時間外勤務時間数	★
適正選挙	投票率、選挙の効力・当選の効力に関する異議申出件数	
公明選挙	選挙啓発活動事業数、選挙運動等に関する選挙人からの照会・回答件数	

施策指標名	単位	評価値の推移			目標値		他団体等の状況	指標の説明
		H22	H23	H24	H25	H27		
時間外勤務時間数	目標			45	40	40	資料なし	告示日前日までの時間外勤務時間数(1選挙当りの平均)
	実績	48.5	47.5	104.5	—	—		
	達成率	%			—	—		
投票率(市議一般選挙) H22欄は前々回(H16) H23欄は前回(H20)	目標			77.6			三次市議会議員一般選挙72.51%	投票率は、様々な要因に影響される。評価値等は同一の選挙を記入。
	実績	81.72	77.6	73.5	—	—		
	達成率	%		94.7%	—	—		
異議申出件数	目標	0	0	0	0	0	平成22年内1件	選挙の効力・当選の効力に関する異議申出件数
	実績	0	0	0	—	—		
	達成率	%			—	—		
選挙啓発活動事業数	目標	9	8	12			本市の「生徒議会」は、先進事例	市明推協及び選管が実施した事業数
	実績	9	8	10	—	—		
	達成率	%	100.0%	100.0%	83.3%	—		

3. 施策構成事務事業の評価

事業種類 経費区分	CD	事務事業名	主な予算科目	H23決算	H24決算	H25予算	人員数(H24) 人件費	重要度	優先度	備考
				うち一財	うち一財	うち一財				
既存 法定事務	461	選挙管理委員会運営事業	2.4.1	11,096 11,091	6,940 6,939	16,143 16,141	0.69 6,017	高い	前年度並み配分	H23決算は、「選挙管理委員会運営事業」+「検察審査員・裁判員候補者選定事業」
既存 ソフト事業	462	選挙啓発事業	2.4.2	1,202 1,202	1,312 1,312	635 460	0.10 872	普通	前年度並み配分	執行される選挙の種類によっては、選挙時啓発の予算化が必要
H24新規 法定事務	463	選挙執行业務	2.4.3	14,778 13,151	62,193 39,304	53,065 10,677	1.21 10,551	高い	H24完了	毎年選挙の種類が異なるため、事業種類は新規とした。
合計				27,076 25,444	70,445 47,555	69,843 27,278	2.00 17,440			

4. 3以外で目的達成に必要な新規事業及び連携させる他機関の事業

事業主体	新規又は連携が必要な事務事業	説明
特になし		

5. 施策の現状分析に基づく改革案の説明

評価視点	評価コメント
① 施策指標の分析	選挙管理委員会の本来業務は、各種選挙の執行管理であり、これらの施策指標は、現状を分析する上で必要な項目である。
② 平成25年度以降の課題(事務事業構成、役割分担)	事務事業構成、役割分担について特段の評価コメントはないが、事務処理内容の質を向上させ、各種選挙のより適正な執行管理が図れるよう、現状の事務処理内容を効率性・妥当性の視点から常に分析、検討する必要がある。
③ 総合評価(今後の展開、事務事業の見直し等)	選挙の種類によって事務量は異なるが、いずれの選挙も公職選挙法等に基づき執行、管理される為、共通する事務は多く、効率化や省力化の観点から不断の見直し作業が必要。

政策への貢献度	普通	事務局長	(氏名)	大野 泰典
---------	----	------	------	-------